

第4学年 国語科学習指導案

期 日 平成30年10月10日(水) 5校時
児 童 男子12名 女子10名 計22名
授業者 高橋 よしえ

1 単元名 読んで考えたことを話し合おう
学習材 「ごんぎつね」(新美南吉)(光村図書 四年下)

2 単元の指導構想

(1) 単元について

本単元は、学習指導要領第3学年及び第4学年における内容「C読むこと(1)ウ・オ」を受けて設定する。

C 読むこと

(1) 読むこと的能力を育てるため、次の事項について指導する。

○ウ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。

◎オ 文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと。

本単元では学習材「ごんぎつね」を読み、読んで考えたことを発表し、互いの考えの共通点と相違点を伝え合いながら話し合うとともに、一人一人の感じ方の違い、考え方の違いに気付く力を身につけさせたい。

【身に付けさせたい力】

○場面と場面とを関係付けながら、叙述を基に想像して読む力。

◎物語を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方に違いがあることに気付き、自分の考えを深める力。

学習材「ごんぎつね」は、「ごん」のちょっとしたいたずら心が思いもよらない影響を及ぼしてしまうこと、せめてもの償いをという切ない思い、一方的な共感、無私の思いであるはずの償いの奥に認められたい気持ちがあることが綴られている。

物語は起承転結の形で綴られている。さらに、物語は伏線によって横に張り巡らされ綴られている。「ごんぎつね」でいえばごんに関する伏線、兵十に関する伏線、兵十と加助の関係についての伏線が冒頭から結末に向かって流れている。その伏線をつなぎ合わせると一つの解釈が生み出されるようになり、作品が「読めた」「分かった」となる。

この単元の学習を通して、今後、自分自身で物語を読み進める時の手がかりとなるように、指導を進めていきたい。

そして本単元では、読んで考えたことを発表し合う言語活動を通して、物語の言葉がもつ論理性や多様性を実感させたい。

(2) 児童について

児童は、これまでの文学的な文章でも会話や行動から人物の人柄や心情を想像する学習を重ねている。四年上「白いぼうし」では、場面ごとに人物の会話や行動を整理し、登場人物の人柄をつかむ学習を行っている。さらに叙述から場面の様子を想像することも繰り返してきた。学習材でも既習の読みの力を生かして、叙述を基に人物の性格や人柄などを想像する力を伸ばした上で、一人一人の考え方の違いに気付いたり、考えを深めたりする経験を積み上げていきたい。

(3) 指導にあたって

本単元では、物語を読んで考えたことを発表し合うことで、互いの考えの共通点と相違点を伝え合いながら話し合う力と、一人一人の感じ方の違いに気付く力を育てていきたい。そのために、場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて叙述を基にして想像して読むことを位置づける。「白いぼうし」の学習では、場面ごとに分けて内容を読み取る授業を展開したが、この単元の学習では文章全体を読み進める活動を取り入れ、場面と場面のつながりや移り変わりに注目させていきたい。

第一次では、これまでの物語の読み方を振り返り、単元のゴールである「物語を読んで、考えたことを話し合う」という学習の計画を立てる。

第二次では、物語全体の枠組みを捉えつつ、感想や話し合いの根拠となる部分を詳細に読む学習を行う。そして、それを受けて根拠を明確にした話し合いを行い、一人一人の感じ方の違いに気付くような学習を展開する。

第三次では、新美南吉の他の作品を読み、自分の力で物語の解釈を行う学習に取り組む。

3 単元の指導計画

(1) 単元の目標

○物語を読んで、感じたことや考えたことを進んで話し合おうとしている。

(国語への関心・意欲・態度)

○場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基にして想像して読むことができる。

(読むこと(1)ウ)

◎物語を読んで、考えたことを発表し合い、互いの考えの共通点と相違点を考えながら話し合うとともに、一人一人の感じ方の違いに気付くことができる。

(読むこと(1)オ)

○言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くことができる。

(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ(ア))

(2) 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> ・叙述に即して物語を読み、感じたことや考えたことを進んで話し合おうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化を叙述を基にして読み取ることができる。 【(1)ウ】 ・物語を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方に違いのあることに気付くことができる。 【(1)オ】 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。 【イ(ア)】

4 指導計画

(全 14 時間)

段階	時間	学習活動	主な評価規準〔 〕と評価方法（ ）
第一 次	1	○これまでの物語の読み方を振り返り初発の感想を書く。	〔関〕 叙述にふれながら、物語の感想を書こうとしている。 (発言・ノート・振り返り)
	2	○初発の感想を交流し合い、学習計画を立てる。	〔関〕 物語の感想を交流しようとしたり、見通しをもって学習しようとしたりしている。 (発言・振り返り)
第二 次 並 行 読 書 ス タ ー ト	3	○物語の登場人物や出来事(伏線)を基に、全体を読み通す。	〔読ウ〕 場面の移り変わりに注意して読んでいる。 (発言・ワークシート)
	4	○叙述に即して読み進める。 ・「ごん」の行動や心情の変化について	〔読ウ〕 登場人物の行動や心情の変化を叙述に即しながら想像して読んでいる。 (発言・ワークシート)
	5	・「兵十」の心情の変化について	〔読ウ〕 登場人物の行動や心情の変化、各場面の情景を想像しながら読んでいる。
	6	・「兵十」と「加助」の関係と「ごん」との関わりについて	
	7	・クライマックス場面について	〔読ウ〕 中心人物が最も大きく変わった場面を捉えて読んでいる。 (発言・ワークシート)
	8	○全体を読み通して自分が読み取った内容をまとめる。	〔読ウ〕 物語全体を通して自分が読み取った内容をまとめている。 (発言・ワークシート)

	9	○詳しく読んだ後の感想を100字～200字程度で書き、自分の初発の感想と比べる。	〔言〕自分の読み深めた内容を言葉で表せることに気付いている。 (発言・ワークシート)
	10	○書いた感想を読み合い、共通点や相違点があることを知り、話し合いのテーマを決める。 (テーマ例 p26 学習)	〔読オ〕読んで考えたことを発表したりそこから話し合いのテーマを考えたりしている。 (発言・ワークシート)
	11 本 時	○互いの考え方の共通点や相違点に気を付けながら、グループで話し合う。	〔読オ〕テーマについて発表し合い、一人一人の感じ方に違いがあることに気づき、自分の考えを深めている。 (発言・ワークシート)
第 三 次	12	○新美南吉の他の作品を読み、感想をまとめる。	〔関〕新美南吉の作品を読み、感想をまとめようとしている。 〔読ウ〕新美南吉の作品を読み、感想をまとめている。 (ワークシート)
	13	○書いた文章を互いに読み合って交流し、感想を伝える。	〔読オ〕同じ作品を読んでも一人一人の感じ方に違いがあることに気づき、自分の考えを深めている。 〔言〕自分が読み深めた内容を言葉で表せることに気付いている。 (振り返り)
	14	○学習を振り返り、学んだことを確認し合う。	〔関〕自分の考えをまとめて表現する力に気付いている。 (発言・ワークシート)

5 本時の指導計画

(1) 目標

感じ方や考え方が分かれた点について話し合い、自分の感想を深め、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くことができる。

(2) 評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力
叙述に着目して物語を読み、感じたことや考えたことを進んで話し合おうとしている。	話し合いを通して、自分の感想を深めることができる。 一人一人の感じ方について違いがあることに気付くことができる。

《支援を要する児童への手立て》

前時までに書き留めていおいたワークシートやメモなどを活用し、自分の考えを述べる時の根拠や理由を明確にさせる。聞くときは自分の考えと比べながら聞くようにさせ、共通点なのか相違点なのかを明らかにさせる。

(3) 「主体的・対話的で深い学びの視点を取り入れた授業づくり」について

本時の学習では、グループごとにテーマを設定し、話し合いを行う。話し合いの際には、メモを取ったり共通点や相違点を関連づけたりしながら聞くようにさせる。最後に話し合っただけで気付いたことをお互いに報告し合うことで、自分だけでは気付かなかった読みについて深い学びの視点から気付くように促していく。

(4) 展開

段階	学習活動	○指導上の留意点 ◇評価 (方法)	指導方法の工夫・手立て
前時想起 2分	1 前時の学習を振り返る。	○自分が書いた感想を読み、根拠を基にした感じ方や考えが書いているかを確認させる。 ◇観察 (ワークシート)	
課題把握	2 本時の学習課題を把握する。		
	課題 テーマにそって話し合い、考えを深めよう		
10分	3 学習活動を確認する。	○どのように話し合えば、考えが深まるのかを確認する。 ◇観察 (ワークシート)	
学び合い グループ 学習 20分	4 グループごとに、決めたテーマについて話し合う。	○友達の考えをよりよく理解するために、「どうしてそう思ったのか」「どの部分からそう思ったのか」のように、根拠や理由を明確にして話し合い、一人一人の感じ方や考え方の違いに気付かせる。 ◇観察・発言 (ワークシート)	個の考えをもつ時間 (一人読み) 思考の可視化
まとめ	5 話し合った内容を報告する。 ・どんなことが話し合われたのかを発表する。	○話し合いの中で出された意見を聞き、一人一人の感じ方や考え方の違いに気づき、そのことを発言やワークシートによって表現する。 ◇発言 (ワークシート)	
10分	6 話し合っただけで広がったり深まったりした自分の考えを書く。	○自分や友達の広がったり深まったりした考えを捉えることで、話し合うことよさを感じとらせる。 ◇発言 (ワークシート・振り返り)	個の考えをもつ時間 (一人読み)
振り返り 3分	7 学習の振り返りを書く。次時の見通しをもつ。	○本時で分かったことや、できるようになったことを中心に感想を書く。 ◇発言 (振り返り)	

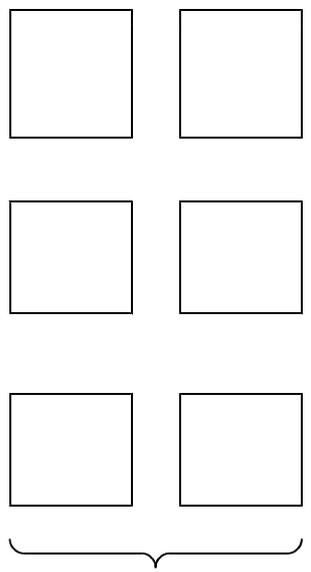
ごんぎつね

新美 南吉

単元のゴール
読んで考えたことを話し合おう

⑥ テーマにそって話し合い、考えを深めよう

◆グループでの話し合い



◆話し合いから感じたことや考えたこと

- ・ つぐないの気持ち伝わった
- ・ 結末が「よかった」のか「悲しい」のか
- ・ ごんはよいきつねか、悪いきつねか

一人一人感じ方がちがう。
話し合いをすることで、気付かなかったことが分かる。